

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療施設指導等経費			担当部局庁	医政局		作成責任者				
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課		課長：迫井 正深				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	救急・災害・へき地医療及び院内感染対策の充実や、医療計画推進に係る指導等を目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討、医療計画の推進にかかる指導及び医療監視業務等の指導を行う。										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度要求	
		当初予算	9	9	7	9	9				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計	9	9	7	9	9					
執行額	7		18		6						
執行率 (%)	78%		200%		86%						
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	病院の立入検査における 検査項目に対する遵守率 を前年度以上とする	病院の立入検査における 検査項目に対する遵守率 (平成26年度、平成27年度 実績は集計中であるため、 平成28年度目標値は平成 27年度目標値と同値)	成果実績	%	98.5	集計中	-	-	-	-	
		目標値	%	98.4	98.5	98.5	-	98.5			
		達成度	%	100	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	心肺停止者の一ヶ月後の 生存率を前年度以上とす る。	心肺停止者の一ヶ月後の 生存率(平成27年度実績は 集計中であるため、平成28 年度目標値は平成27年度 目標値と同値)	成果実績	%	11.9	15.4	-	-	-	-	
		目標値	%	11.5	11.7	11.9	-	15.4			
		達成度	%	103	132	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	心肺停止者の一ヶ月後の 社会復帰率を前年度以上 とする。	心肺停止者の一ヶ月後の 社会復帰率(平成26年度実 績は集計中であるため、平 成27年度目標値は平成26 年度目標値と同値)	成果実績	%	7.9	10.8	-	-	-	-	
		目標値	%	7.2	7.5	7.9	-	10.8			
		達成度	%	110	144	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	黄色ブドウ球菌におけるメ チシリン耐性黄色ブドウ球 菌(MRSA)の割合を前年 度以下とする。	黄色ブドウ球菌におけるメ チシリン耐性黄色ブドウ球 菌(MRSA)の割合(平成26 年度実績は集計中である ため、平成27年度目標値 は平成26年度目標値と同 値)	成果実績	%	51	49	-	-	-	-	
		目標値	%	53	51	49	-	49			
		達成度	%	96	96	-	-	-			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	医療法第25条第1項の立入検査時の留意事項の説明 (助言)会開催 ※上記会議と同時開催				活動実績 当初見込み	回	8	8	0	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	院内感染対策サーベイランス事業参加医療機関数				活動実績 当初見込み	施設	1,301	1,671	1,859	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	院内感染対策サーベイランス事業実施施設				活動実績 当初見込み	施設	1	1	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:院内感染対策サーベイランス事業実施施設数				単位当たり コスト 計算式	百万円	-	15	17	17	
						X/Y	-	15百万円/1	17百万円/1	17百万円/1	

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	諸謝金	0	0	
	職員旅費	3	3	
	委員等旅費	0	0	
	庁費	6	6	
	計	9	9	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)							
	施策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること							
	測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 28年度	
		心肺停止者の一ヶ月後の生存率	実績値	%	11.9	15.4	-	-	-
			目標値	%	11.5	11.7	11.9	-	15.4
		心肺停止者の一ヶ月後の社会復帰率	実績値	%	7.9	10.8	-	-	-
			目標値	%	7.2	7.5	7.9	-	10.8
		病院の立入検査における検査項目に対する遵守率	実績値	%	98.5	-	-	-	-
	目標値		%	98.4	98.5	98.5	-	98.5	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
医療法第25条の規定に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等について検査)の結果に関する都道府県等からの報告データの集積システムを構築することにより、立入検査の結果について迅速かつ正確に報告・集計し、各都道府県等に情報提供を行うことにより、遵守率の向上に寄与する。									
アクション・プログラム	分野	-		-					
	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
		成果実績	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-		
	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
成果実績		-	-	-	-	-			
目標値		-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善			
項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	様々な観点からの医療に係る安全確保は重要であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療の安全と信頼を確保する上で、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療の安全の確保という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	指導等に係る必要最低限の費目や使途に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	医療監視に係る職員出張の回数が、予定よりも下回ったため。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見合ったものになっている
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
点検結果	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善	点検結果	医療機関等への指導、救急医療等の諸方策の検討や院内感染の充実が国民が安心して暮らしていくためにも必要なものであり、医療機関の医療広告に関する規制についての説明会や医療法第25条の立入検査時の留意事項説明会については、毎年各厚生(支)局(8ヶ所)において実施しており、引き続き、実施が必要である。	
	改善の方向性	医療機関等への指導等に係る経費や救急医療、災害医療等の諸方策の検討や院内感染の充実のための経費であり、今後も執行状況等を踏まえて、事業規模等を改善すべき点がある場合には、的確に反映していく。	

外部有識者の所見

執行率に凹凸があり、予実管理を(執行率100%に近い数値)実行し、予算見積もりをしていただきたい。(井出 健二郎)

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の

執行率に凹凸があるため、翌年度の事業規模を適切に見込んで予算要求を行うこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

医療監視に係る職員出張費用等は、予算要求段階で想定できない場合もあるが、外部有識者の意見を踏まえつつ、必要な予算額を確保し、適正な執行を行う。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	42	平成23年度	35	平成24年度	36		
平成25年度	15	平成26年度	14	平成27年度	12		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
6.5百万円

救急・災害・へき地医療及び院内感染対策の充実
や、医療機関の経営管理改善施策及び医療法人
の適正な管理運営の推進のための経費



A. 事務費
6.5百万円

期間業務職員賃金、職員旅費、
会議費備品購入等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

